

東北大学大学院経済学研究科教員公募要領

1. 職種・人数・任期 教授・准教授・講師のいずれか 1名。
※経歴等を考慮して職位を決定する。
2. 契約期間 任期あり。国立大学法人東北大学特定有期雇用職員就業規則に基づく。職務の継続状況と、勤務実績による教育および教育に関わる管理運営等への貢献の評価に基づき、更新の可能性あり。
3. 所属 東北大学大学院経済学研究科
4. 担当職務 「教育高度化教員」。国際卓越研究大学としての教育高度化を担う。
・教育および教育に関わる管理運営業務
・担当授業科目は、全学教育科目の演習科目および経済学関連科目、学部の2年生演習科目および学部の入門科目。
・授業はいずれも対面方式により実施
・学生指導
※東北大学ゲートウェイカレッジの経済学・経営学科目を英語で担当する可能性あり。(東北大学ゲートウェイカレッジ：<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>)。その他、カリキュラム改訂により変更することがある。
※エフォート率20%を上限として、研究業務に従事可能。
5. 就業時間等 午前8時30分～午後5時15分（うち休憩1時間）
休日は、土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12／29～1／3）。
※超過勤務の可能性有
6. 給与 年俸制（国立大学法人東北大学職員給与規程による）
7. 応募資格 (1) 博士の学位を有する、あるいは、着任日までに学位取得見込みの者。
(2) 国籍は問わないが、日本語で授業、学生指導、管理運営業務ができること。
(3) 英語を用いて経済学ないし経営学に関する講義を行えることが望ましい。
8. 応募期限 2025年12月1日（月）必着
9. 採用時期 2026年4月1日
10. 応募書類 (1) 履歴書 1部（本研究科指定の様式に。東北大学大学院経済学研究科各種公募（<https://www.econ.tohoku.ac.jp/recruit>）よりダウンロードして使用すること）
(2) 研究業績目録 1部（著書、論文等、共同研究参加・競争的資金獲得を時系列で記載したもの）
(3) 教育業績目録 1部（年度、担当科目名、対象学部・学年、単位数、実施方法、大学名等を時系列で記載したもの）
(4) これまで担当した科目的シラバス各1部（5科目以内）

(5) 授業実施概要 A4用紙、2枚程度（過去に担当した科目のうちの1つについて、シラバスをもとにそれに補足説明をする形で、何人程度履修し、どのような授業をし、どのような工夫を行い、どのように成績評価をし、何人程度単位を取得したか等について記す）

(6) 学位記の写し、または学位取得（見込）証明書 1部

1 1. 採否の通知 2026年3月上旬（予定）

1 2. 選考方法 書類審査、面接、模擬講義等による。

1 3. 応募書類の提出先・問い合わせ先

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院経済学研究科 総務企画係

電話 022-795-6268 E-mail eco-syom@grp.tohoku.ac.jp

1 4. その他 封筒に「教育高度化教員応募書類在中」と朱書きのうえ、書留郵便にて送付のこと。
応募書類は原則として返却しない。

本件については、東北大学大学院経済学研究科各種公募（<https://www.econ.tohoku.ac.jp/recruit>）
および科学技術振興機構（JST）の人材募集案内情報「JREC-IN（研究者人材データベース：ジェイレックイン）」（<https://jrecin.jst.go.jp/>）に掲載されている。

・東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員22名）及び青葉山みどり保育園（定員116名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員120名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

・任期中に産前休暇及び産後休暇、育児休業、介護休業等を取得する場合、教育研究の推進上必要と認めるときは、休暇・休業期間の範囲内で当該任期を延長することがあります。